

平成 21 年 10 月 21 日

各 位

不動産投資信託証券発行者名

東京都港区六本木六丁目 10 番 1 号
六本木ヒルズ森タワー
ジャパン・ホテル・アンド・リゾート投資法人

代表者名 執行役員 鈴木 博之
(コード番号: 8981)

資産運用会社名

ジャパン・ホテル・アンド・リゾート株式会社

代表者名 代表取締役 鈴木 博之
問合せ先 管理本部長 板橋 昇

TEL. 03-6439-0333

2009 年 9 月度の月次開示に関するお知らせ

ジャパン・ホテル・アンド・リゾート投資法人（以下「本投資法人」といいます。）の 2009 年 9 月度の月次総売上高並びに宿泊部門の客室稼働率、ADR 及び RevPAR を下記のとおりお知らせいたします。本投資法人は変動賃料の支払いを伴うホテルであって、ホテル賃借人である株式会社ホテルマネージメントジャパンから開示について同意をうけることができたホテルについて継続的に月次開示をいたします。

記

ホテル／項目		9 月度	対前年 同月増減 注6)	(参考) 累計 注7)	(参考) 対前年 累計増減 注8)
神戸メリケンパーク オリエンタルホテル	稼働率	71.3%	-4.0%	71.3%	-4.0%
	ADR (円)	15,851	264	15,851	264
	RevPAR (円)	11,304	-432	11,304	-432
	売上高 (百万円)	491	12	491	12
オリエンタルホテル 東京ベイ	稼働率	89.7%	-1.4%	89.7%	-1.4%
	ADR (円)	16,608	-1,617	16,608	-1,617
	RevPAR (円)	14,893	-1,699	14,893	-1,699
	売上高 (百万円)	439	-117	439	-117
なんばオリエンタルホテル	稼働率	72.8%	-8.0%	72.8%	-8.0%
	ADR (円)	9,640	-975	9,640	-975
	RevPAR (円)	7,016	-1,560	7,016	-1,560
	売上高 (百万円)	138	-15	138	-15
ホテル日航アリビラ	稼働率	74.1%	-20.7%	74.1%	-20.7%
	ADR (円)	30,978	3,688	30,978	3,688
	RevPAR (円)	22,944	-2,910	22,944	-2,910
	売上高 (百万円)	459	-73	459	-73
オリエンタルホテル広島 注6)	稼働率	77.0%	-1.4%	77.0%	-1.4%
	ADR (円)	9,465	402	9,465	402
	RevPAR (円)	7,287	185	7,287	185
	売上高 (百万円)	165	-2	165	-2
上記 5 ホテル合計	売上高 (百万円)	1,692	-196	1,692	-196

9 月度の実績に関するジャパン・ホテル・アンド・リゾート株式会社（資産運用会社）からのコメント：

神戸メリケンパークオリエンタルホテルについて

宿泊部門では、シルバーウィークにおける高単価なレジャー需要を取り込むことができたためADRが前年同月を上回ったものの、マーケット全体で平日の集客が弱く稼働率が減少したため、売上は前年同月を下回りました。料飲部門では、レストラン部門において宿泊稼働率の低下に伴う朝食売上の減少により前年同月を下回ったものの、婚礼宴会においては販促活動のテコ入れ等により受注件数が回復し、売上が増加、一般宴会においては新型インフルエンザの影響により順延されていた宴席の実施等により売上が増加したため、料飲部門の売上は前年同月を上回りました。結果として、ホテルの総売上は、前年同月を約12百万円上回りました。

オリエンタルホテル 東京ベイ（旧：新浦安オリエンタルホテル）について

宿泊部門では、シルバーウィーク期間は好調に推移したものの、東京ディズニーリゾート25周年の集客効果剥落及び競合施設間の価格競争が強まっていることから、同期間外でADR、稼働率共に前年同月を下回り、結果として売上も前年同月を下回りました。レストラン部門では、稼働の落込みが小さかったことから対前年同月比での朝食の下落は小さかったものの、昼食及び夕食は下落し、前年同月の売上を下回りました。宴会部門では、チャペル改修工事の影響のため婚礼関連収入が前年同月を下回ったこと等から前年同月を下回りました。結果として、ホテルの総売上は、前年同月を約117百万円下回りました。

なんばオリエンタルホテルについて

宿泊部門では、レジャー団体の取り込みは堅調であったものの、景況感の低迷を受けたビジネス需要の落込みの継続等により、ADR、稼働率共に前年同月を下回ったため、売上も前年同月を下回りました。結果として、総売上は前年同月比で約15百万円下回りました。

ホテル日航アリビラについて

宿泊部門では、シルバーウィークが高単価で好調に推移したことからADRは対前年同月を上回ったものの、インフルエンザ報道の影響等により沖縄本島への入島者数の対前年同月での下落が継続したため稼働率は対前年同月比で低下、結果として売上は前年同月を下回りました。料飲部門では、各種施策により夕食の摂食率は改善しましたが、宿泊者数の減少に伴うレストラン利用者の減少により、売上は前年同月を下回りました。結果として、ホテルの総売上は前年同月を約73百万円下回りました。

オリエンタルホテル広島について

宿泊部門では、マーケット全体が売上を大きく落とす中、集客チャネルの拡充施策が奏功、売上は前年同月を上回りました。料飲部門においては、レストラン部門がフェア開催による集客増、また積極的なセールス活動に拠る個室利用の増加により前年同月を上回ったものの、一般宴会は、法人宴会の単価下落により売上が前年同月を下回り、婚礼宴会も件数減少により売上が前年同月を下回ったため、部門全体の売上は前年同月を下回りました。結果として、ホテルの総売上は前年同月を約 2 百万円下回りました。

※ご参考

新型インフルエンザの影響について

9 月度における新型インフルエンザを起因とした予約キャンセル額（直接的影響）は、神戸メリケンパークオリエンタルホテルで約 2 百万円、オリエンタルホテル東京ベイで約 1 百万円、なんばオリエンタルホテルで約 1 百万円、ホテル日航アリビラで約 4 百万円、オリエンタルホテル広島で約 3 百万円となっており、5 ホテル合計では約 12 百万円でした。

注 1) 上記のコメントは運用会社が賃借人から提供を受けた情報に基づいて作成しており、あくまでおおむねの傾向についての参考情報として記載するものにすぎません。コメント中に記載された数値・情報については、監査等の手続を経ているものではなく、運用会社による独自の検証を行ないうる性質のものでもなく、個々の数字・内容の正確性・完全性について保証できるものではありませんのでご注意ください。

注 2) 各月の数字については監査等の手続を経ないため、各月を合計した金額は、後に提出する半期報告書、有価証券報告

書に記載される6ヶ月間及び年間の売上合計と合わない場合もあります。また、各月の売上についても、半期報告書、有価証券報告書に記載される各月の売上と相違する場合があります。

- 注 3) ADR : 平均客室販売単価 (Average Daily Rate) をいい、一定期間の宿泊部門売上高合計 (サービス料を除きます。) を同期間の販売客室数合計で除した値をいいます。
- 注 4) RevPAR : 販売可能客室数当たり宿泊部門売上 (Revenue Per Available Room) をいい、一定期間の宿泊部門売上高合計を同期間の販売可能客室数合計で除したものをいい、ADRと客室稼働率の積にて計算される数値と同値となります。
- 注 5) 客室稼働率については小数点第2位を、ADR、RevPARについては小数点第1位を四捨五入して記載しています。売上高については、百万円未満を四捨五入して記載しています。
- 注 6) 対前年同月増減とは当該月と前年同月との増減を記載しています。
- 注 7) 累計とは当期期首から当該月までの累計値を記載しています。
- 注 8) 対前年累計増減とは、当期期首から当該月までの累計値と前期期首から前年該当月までの累計値との増減を記載しています。

以上

* 本投資法人のホームページアドレス : <http://www.jhrth.com/>